無量光

第38号　　お盆号

〒953-0076　新潟市西蒲区福井2013番地
真宗大谷派
岩見山　長福寺
TEL　(0256) 72-3700
FAX　(0256) 77-5048
発行人　岩見　一史

本山東本願寺御影堂での盂蘭盆会の様子。本願寺の御歴代の御影が全て掛けられる。親鸞聖人以来連綿と続いてきた本願寺の歴史を表現する荘厳となっている。

盆参会（盂蘭盆）ご案内

八月　八日（土）

午前十時半より

お斎　午後0時半より

場所　長福寺本堂・庫裡

法話
江南区亀田　往生人舎　主宰
今泉　温資　師

皆様どうぞお参り下さい

○お斎はお弁当となります。注文のため、四日前までに電話（72−3700）、または長福寺公式LINEでご連絡ください。持ち帰りもできます。
○境内及び駐車場がございますが、お車の際はなるべく乗り合わせてお越しください。満車の際は旧庄屋佐藤家の駐車場をご利用下さい。
○帰敬式を受式済の方は、略肩衣をお持ち下さい。

永代経志納

令和七年七月～令和八年六月

竹之内正範（峰岡）為義祖母
令和七年　七月　十七日
法名　誓願院釋尼光妙

長津　伊栄門（下木島）為母
令和七年　九月　十七日
法名　無量院釋尼唯称

本間　正　（岩室）　為母
令和七年　九月　二十八日
法名　妙光院釋尼法楽

多賀　政喜　（福井）　為母
令和七年　十月　二日
法名　釋尼専心

早川　金也　（燕）　為義母
令和七年　一月　八日
法名　釋尼聞信

小柳　洋一（保古野木）為母
令和八年　六月　一日
法名　往相院釋尼安養

永代経とは

永代経とは、永代にわたり本堂でご命日のおつとめがつとまることです。お浄土に生まれ仏さまに成られた故人の仏徳を讃嘆するとともに、お念仏の教えが子々孫々に相続される願いがこめられています。ご先祖さまは私たちに仏さまの教えに出逢わせる縁を結ぶようつとめてきました。毎日のお朝事、法事・法要はその願いが形となった姿です。

◇永代経の志納金とは

お納めする永代経の志納金の額には特別な決まりはありません。遺族の方々の故人への謝徳の念と、仏さまに成られてお住まいのお浄土を顕す本堂をお護りする仏法護持・法義相続のお志が志納金です。

◇いつお納めするか

特別な決まりはありませんが、四十九日の満中陰法要までに納めるのが一般的です。また、納骨・お内仏の御移徙・一周忌・三回忌等の法要の機会に納められる場合もあります。事情により数年後の場合もあります。

今後の行事予定

○八月八日（土）
　盆参会・新盆法要
○八月十三日（木）
　お盆・お墓参り
○八月十四～十六日（金～日）
　お盆のお内仏参り
○十一月五～八日（木～日）
　三条別院お取り越し報恩講
　（住職出仕）
○十一月十一日（水）
　長福寺報恩講（案内後送）
○十一月二十一～二十八日（土～土）
　真宗本廟御正忌報恩講

本堂使用できます

葬儀、法要など本堂で執り行うことができます。
お参り用椅子も用意がありますので、椅子に座って法要を勤められます。控室ではお茶道具を用意してありますので、法要前などにお使いいただけます。
葬儀の場合は寺までご相談下さい。

（生花一対・供物・蝋燭）
前もってご連絡いただければ、寺でご用意します。
10，000円
墓花も必要な場合　**12，000円**

あとがき

真宗大谷派では、住職の配偶者を「坊守」といいます。お寺に生まれた娘さんもいれば、嫁いできたお嫁さんもいます。私は最初、分からない事ばかりで、近くのお寺の坊守さんにたくさん助けて頂きました。

先日、北海道から東京まで、東日本地区の坊守さんが集まる研修会がありました。百名を超える坊守さんが集まり、笑いを交えながらの考えさせられるお話を頂き、大変勉強になりました。

ご講義もとても有意だったのですが、何よりも他県の坊守さん方と、日ごろの悩みや疑問を話すことができ、本当に有難い時間でした。

身を置く場所は違っても、抱えている問題や悩みは同じ。また嬉しく思う事や楽しみも同じ。すぐに打ち解けることができ、また会いましょう！と最終日には昔からの友達のようにしている方々もおられました。

最初にも書きましたが、住職の配偶者なので、当然男性坊守さんもいらっしゃって、今回の研修会には一名参加しておられました。女性ばかりの中で、もっと参加しやすい状況を作っていかなければという時代的課題も見えた研修会でした。機会があれば、また参加してきたいと思っています。（坊守）

盆参会（新盆会）の次第

令和八年八月八日（土）

午前十時半　　午前十時受付開始

午前十一時　　新盆おつとめ

正午　　ご法話（今泉 温資　師）

午後0時半　　盆参おつとめ

お斎

盆参にお参りされる皆さんは、どなたも亡き人を偲んでお参りされます。

日常の生活では、なかなかいのちについて考える機会は少ないと思いますが、この法要をその様なご縁にしていただけたらと思います。

講師の今泉温資師

1953年新潟市生まれ。真宗門徒の家庭に育ち、役僧をしていた父や聞法に通う母の影響で幼いころから寺院に親しむ。

高校時代の恩師の勧めで大谷大学真宗学科に入学し、在学中に得度。卒業後は真宗大谷派研修部補導や三条教区駐在教導を歴任。

その後、自宅に聞法道場を開設し、地域同朋の会「往生人舎 同朋の会」を主宰。月に一度の同朋会や報恩講（12月）を勤め、各地で布教を行う。

長福寺公式ＬＩＮＥ

各種法要・行事のご案内等を随時配信いたします。

法要・行事の出欠連絡や、お問い合わせ、月参り等の変更連絡などもできます。

右記QRコードよりぜひご登録下さい。

LINE

友だち追加

インスタグラムでも日々の出来事など中心に更新中！
QRコードからチェック、フォローお願いします！

@TYO_FUKUJI

長福寺 Instagram

行事報告

3月17日　彼岸会・永代経法要
講師　池田 陽　師

1月1日　修正会

「仏事豆知識Q&A」

他人には聞きづらい、仏事に関するみなさまの疑問や、よく質問をいただくことを中心にQ&A形式でご紹介します。

「仏事の際の、金封の表書きはどう書くのですか？」

お葬式、年回法事、お祝いの仏事など、仏事は様々です。また自らが施主となって勤める場合、親戚や知り合いのお宅に仏事で招かれる場合など形も様々で、そんなとき困るのが金封の表書きです。

まず、親戚や知り合いのお葬儀にお参りする場合は、黒白の水引の金封に「御香資」「御香料」「御香典」と書きます。親戚や知り合いの年回法事にお参りする場合は、黄色白の水引に「御仏前」と書いてもらえば結構です。お祝いの仏事に招かれた場合は、赤白の水引に「御祝」と記します。

自らが施主（喪主・主催者）となって仏事を勤める場合、僧侶に差し出す金封は、「御布施」と書きます。

注意して頂きたいのは、いずれの場合も、仏さまにお供えするものですから、「御霊前」とは書きません。

八月十三日 お墓参りの心得

（墓前読経受付時間）
午前七時～午後八時

※九・十・十一・十二日に読経希望の方は、事前の予約をお勧めします。法務やお盆の準備でお待たせしたり、お断りする場合もあります。十三日は予約不要で待機しています。

一、まずは本堂の御本尊にお参りします。

一、合掌してから、お墓の掃除をします。墓石を洗い、花立の中のゴミや、香炉の灰も始末します。

一、花立に花を飾り、お明し（ローソク）をあげ、香（線香）をたきます。

一、合掌しお勤めをします。

一、ゴミを持ってお墓を後にしましょう。

お墓にお参りするということは、亡き人々（ご先祖）の促しをご縁として、阿弥陀如来を拝むのだということです。

そこに迷っている私たちが照らされ、おかげさまで生かされているということに気づかせてもらうのです。

お墓参りに先立って、必ず本堂の御本尊にお参りすることが、私たち真宗門徒の心得でです。

墓地管理についてのお願い

本堂にお盆・永代経などの冊子や各種新聞など用意してあります。無料ですのでご自由にお持ちください。冷たいお茶も用意してあります。

ローソク・線香セットの販売もあります。維持費・墓地管理費等は庫裡で受付します。

〇お墓参りの際、花立としてガラス瓶は持参しないでください。

風で倒れたりしますと破片が散乱し、怪我の原因になり他の人にご迷惑となります。ペットボトルを切断したものがお勧めです。

〇お墓にお供えした供物などは、お持ち帰りください。

カラス・風などでゴミの散乱による衛生上の問題発生原因になっております。

お盆のお参りのご案内

例年通りのお盆のお参りに伺います。地区別の大まかな予定は次の通りです。都合により多少前後する場合がございますのでご容赦ください。

〇十四日（午前）
新谷・横曽根・潟上・峰岡間瀬

〇十四日（午後）
高畑・広瀬・車田・油島
福井・峰岡

〇十五日（午前）
巻・赤鏥・福井・橋本

〇十五日（午後）
竹野町・下木島・原・岩室
鷲ノ木・樋曽・福井

〇十六日（午前）
保古野木・鱸・富岡・和納
栄

わてけ

花には人間のようなかけひきがないからいい
ただ咲いて、ただ散ってゆくからいい
ただになれない人間のわたし

相田みつを

さくらの樹木葬 永代供養墓

「自分の代で後継ぎがいなくなる」「お墓を維持する余裕がなくなった」「遠方でお墓の管理が難しい」など、お墓に対する悩みが増えています。その様な悩みや不安をお持ちの方の声を受けまして、寺が皆様に代わり永代に亘り管理させていただく、個別型樹木葬・合葬型の永代供養墓を建立しました。

生前申し込み、改葬（お墓じまい）も承ります。詳しくは長福寺までお問い合わせください。パンフレットのご用意があります。

永代使用料【個人】10万円
※管理料等はございません
（墓じまいは、ご相談にて）

【2名様】　50万円
【3名様】　60万円
【4名様】　70万円
※ﾌﾟﾚｰﾄ代含む（彫刻料別途）